

令和6年度 是川縄文館考古学講座（前期）

縄文時代の 植物利用を読み解く



復元かご
是川縄文館蔵



7月から9月にかけて開催する特別展「縄文の編み／組みの探求―第4期共同研究展示―」にあわせ、さまざまな分野から植物利用について学びます。

第1回

5/11 土

講師：片岡 太郎 氏

（弘前大学人文社会科学部 准教授）

「X線CTが紐解く、縄文時代の漆工芸の秘密」

第2回

6/15 土

講師：斉藤 洋子 氏

（秋田県立博物館 学芸主事）

「(仮) 植物を編む -秋田県内の編組品について -」

第3回

7/6 土

講師：能城 修一 氏

（明治大学黒耀石研究センター 客員研究員）

小林 和貴 氏

（東北大学学術資源公開センター植物園 学術研究員）

「(仮) 新たな分析手法で読み解く、
是川縄文人の植物利用」



サルナシ

会場：是川縄文館1階 体験交流室

時間：14時～16時 聴講無料・要申込（定員100名）

※定員に達し次第、受付を終了しますのでお早目にお申込みください。

お申込み・お問合せは

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

〒031-0023 八戸市大字是川字横山1
<https://www.korekawa.jomon.jp/>

TEL：0178-38-9511



みなさんの参加
お待ちしております

